

校舎等の消毒について

□ 消毒用エタノール（アルコール消毒薬）を使用する場合 □

<基本的な考え方>

- アルコール清拭による高頻度接触面や物品の消毒を励行する。

（具体例）

- ・ 消毒場所：手すり、ドアノブ、電気のスイッチ、机、椅子、水道の蛇口、トイレなど
 - ※ よく手の触れる場所を念入りに行う。
 - ※ 作業人数が多い場合などは、壁など広い範囲の消毒を行う。
- ・ 消毒方法：アルコール消毒薬を浸したペーパータオルや使い捨て布で拭き取る。
 - ※ 室内での噴霧は健康被害につながるため行わない。

- 廃棄物の処理、リネン類、衣類等の洗濯は通常通りで良い。

□ 次亜塩素酸ナトリウム消毒液を使用する場合 □

アルコール消毒薬がない場合は、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系消毒薬 例：ハイターやブリーチ等）も有効です。

ただし、アルコール消毒薬とは違い、取扱いに注意が必要ですので、注意事項をよくお読みください。

－次亜塩素酸消毒液の使い方－

消毒液は、用途に合った濃度のものを用います。塩素系消毒薬を希釈して作りますが、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

濃度	0.5%（5000ppm）～0.05%（500ppm）	
用途	教室やトイレなど児童生徒等が利用する場所のうち、特に多くの児童生徒等が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）	
希釈方法	2ℓ作る時 （濃度約0.06%）	原液25ml（漂白剤のキャップ1杯）を2ℓの水で希釈

※市販の家庭用塩素系漂白剤（原液に含まれる次亜塩素酸ナトリウム濃度約5%）を用いる場合

－使用時の注意事項－

- ① 製品の「使用上の注意」を必ず確認してから使用してください。
- ② 手荒れの原因になるので、手指消毒には使用しないでください。
- ③ 十分に換気をしながら消毒してください。
- ④ 他の洗剤と混ぜないでください。（酸性洗剤と混合すると有毒な塩素ガスが発生します。）
- ⑤ 金属腐食性があるため、消毒後は洗い流すか、水拭きしてください。
- ⑥ 希釈した消毒液はなるべく早く使用するようにしましょう。
- ⑦ 保管する場合は、誤って飲むことが無いように消毒液であることを明記して、冷暗所、もしくは遮光性のある容器で保管してください。

参考：ノロウイルスによる感染症・食中毒を予防しましょう（北海道版リーフレット）

令和2年3月24日付け元文科初第1780号「令和2年度における小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における教育活動の再開等について」

◆ 消毒をする場合には、手袋とマスクを着用してください。